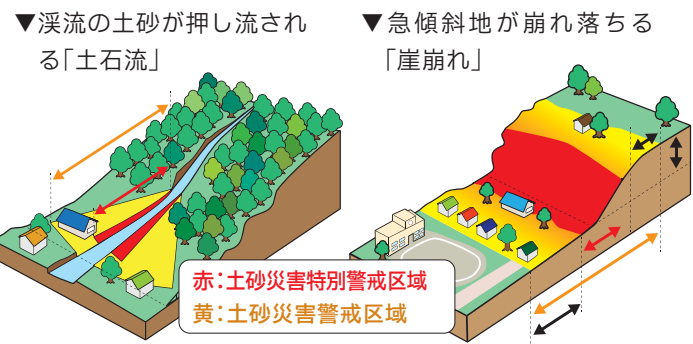


## 前兆を見逃すな土砂災害



土砂災害には▶崖崩れ▶土石流▶地すべりの3種類があります。いずれも避難は斜面に対して左右の方向に逃げるようにします。  
**崖崩れ(急傾斜地の崩壊)**…傾斜度が30度以上の土地で突発的に発生し、崩れ落ちるスピードが速い特徴があります。  
**土石流**…溪流にたまった土砂が、一気に下流に押し流される現象をいいます。破壊力が大きく、甚大な被害をもたらします。  
**地すべり**…地中の滑りやすい層が地下水などの影響を受け、ゆっくりと動く現象です。

# 身を守るために知っておきたい 水害・土砂災害のこと

梅雨時期から10月ごろまでは、大雨や集中豪雨、台風など雨による災害が起こりやすい季節です。  
 災害から身を守るためには、身の回りで起こりうる災害の種類や備えを日頃から確認し、知っておくことが大切です。

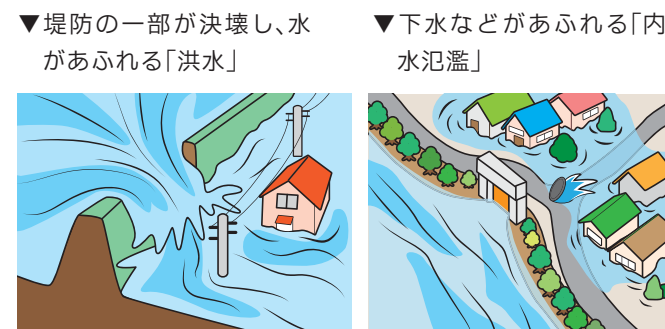
**土砂災害警戒情報に注意**  
 雨が降り出したら都道府県と気象庁が共同で発表する「土砂災害警戒情報」に注意してください。  
 同防災情報は大雨による土砂災

1箇所を「土砂災害特別警戒区域」に指定しています。  
 土砂災害警戒区域などに指定されていなくても、土砂災害危険箇所、そして付近に崖地や小さな沢がある地域は注意が必要です。

**山・崖の近くは土砂災害に要注意**  
 傾斜や急な山が多い地域は、台風や大雨、地震などが引き金となつて土砂災害が発生する可能性があります。  
 市内では591箇所が「土砂災害危険箇所」に該当します。そのうち、土砂災害が発生した際に危害の恐れのある土地333箇所を「土砂災害警戒区域」に指定。その中でも著しい危害の恐れのある土地31箇所を「土砂災害特別警戒区域」に指定しています。



## 河川の近くは水害に注意



雨や雪解けにより川の水が増え、堤防が決壊したり、あふれたりする水害のことを「洪水(外水氾濫)」といいます。洪水に対し、水路や下水道などによる排出が追いつかず、市街地にあふれることを「内水氾濫」といいます。  
 本市では北上川や猿ヶ石川の河川付近で洪水・内水氾濫の発生する恐れがあります。

雨の多い日本では毎年、全国のどこかで大雨などによる洪水・内水氾濫が起きています。  
 岩手県では平成28年に台風第10号が上陸し、岩泉町や遠野市などで洪水や浸水が発生。甚大な被害をもたらしました。  
 北上川や猿ヶ石川などの流れる本市においても、洪水・内水氾濫は身近な災害の一つといえます。

**土砂災害警戒情報に注意**  
 雨が降り出したら都道府県と気象庁が共同で発表する「土砂災害警戒情報」に注意してください。  
 同防災情報は大雨による土砂災

**前兆が現れることがあります**  
 土砂災害が発生するときには、何らかの前兆現象が起こることがあります。  
 次に上げる前兆現象に気付いたら、周囲の人にも知らせ、崖から離れた場所に避難しましょう。

**■主な前兆現象**  
**崖崩れ**：崖にひび割れができる  
**小石がパラパラと落ちてくる**  
**崖から水が湧き出る**、湧き水が止まる・濁る  
**地鳴りがする**  
**土石流**：山鳴りがする  
**急に川の水が濁り、流木が混ざり始める**  
**腐った土の臭いがする**  
**雨が続くのに川の水位が下がる**  
**地すべり**：地面がひび割れ、陥落する  
**崖や斜面から水が湧き出る**  
**沢の水が濁る**  
**樹木が傾く**  
**亀裂や段差が発生する**

**水害は身近な災害の一つです**  
 雨の多い日本では毎年、全国のどこかで大雨などによる洪水・内水氾濫が起きています。  
 岩手県では平成28年に台風第10号が上陸し、岩泉町や遠野市などで洪水や浸水が発生。甚大な被害をもたらしました。  
 北上川や猿ヶ石川などの流れる本市においても、洪水・内水氾濫は身近な災害の一つといえます。

**自宅や地域の水害リスクを知る**  
 自宅や職場、その周辺にどのような水害リスクがあるか知るためには市が発行している「花巻市ハザードマップ」をご覧ください。  
 ハザードマップには、過去の被害をもとに想定される浸水範囲に加え、内水氾濫が想定される箇所などが記載されています。  
 想定以上の雨が降った場合は、浸水想定区域外の場合でも浸水する可能性があります。河川に近い地域はもとより、高台にお住まいの人なども注意が必要です。  
 ※花巻市ハザードマップ：平成27年11月に全戸配布。今年3月に

**状況に応じて避難を**  
 安全に避難するためには、避難経路や避難場所をハザードマップで事前に確認し、実際に歩いてみるのが大切です。  
 しかし、浸水が始まってから避難場所まで避難するのは大変危険です。外出が危険な場合は無理に避難場所まで行かず、自宅または近隣の建物の2階以上に避難してください。

### information

#### ■防災ラジオを販売します

防災ラジオは、市がエフエムワンを通じて、避難勧告などの防災情報を発信した場合、自動で起動し放送が始まるラジオです。この防災ラジオを希望者に販売します。

※1世帯当たり1台まで



**販売額**  
 ▶1世帯…5千円  
 ▶1事業所…1万円

#### ■FMアンテナの設置を補助します

防災ラジオの自動起動信号にはFM電波が利用されています。FM電波の受信が困難な世帯に対し、受信用の屋外アンテナなどの設置費用の一部を補助します。

**補助額** 工事費の2分の1(限度額2万5千円)  
 ※工事開始の1カ月前までに申請が必要です。申請書は本館防災危機管理課に備え付けているほか、市ホームページに掲載しています

北上川で氾濫の危険性が高まった場合、緊急速報メールが自動で配信されます。メールを受信したら雨の降り方や水位を、国土交通省のWEBサイト「川の防災情報」で確認しましょう。

安全に避難するためには、避難経路や避難場所をハザードマップで事前に確認し、実際に歩いてみるのが大切です。  
 しかし、浸水が始まってから避難場所まで避難するのは大変危険です。外出が危険な場合は無理に避難場所まで行かず、自宅または近隣の建物の2階以上に避難してください。

#### ◎ハザードマップ記載例



▲洪水の想定区域



▲内水氾濫の想定区域

北上川・猿ヶ石川の浸水想定区域および大迫地域の土砂災害警戒区域を見直し、対象地区には再発行しました